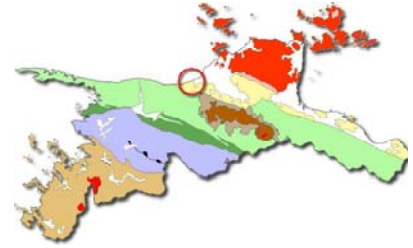


# 伊予市森(大谷海岸)

郡中層の急傾斜で岩相の変化が激しい地層

伊予市立北山崎小学校の南西2000m

**キーワード** 礫、砂、泥、植物化石



露頭全景

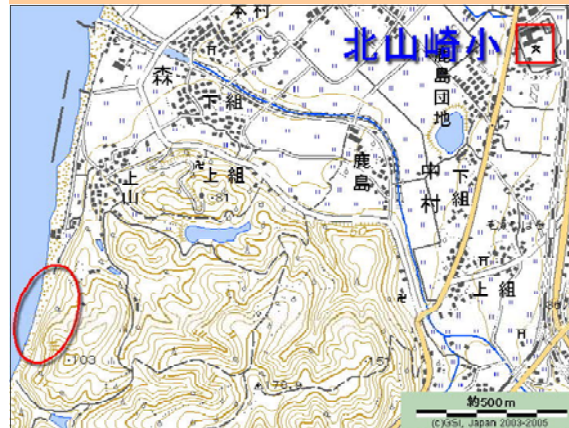
礫、砂、泥でできている地層を観察することができる。露頭は、海岸沿いに約2kmにわたって広がっている。この地層の傾斜は、80° 近くの急傾斜になっていることが特徴である。また、岩相は激しく変化し、礫～泥の層が繰り返し堆積している。一部には、火山灰を含んだり、緑色片岩の砂を含む層も堆積している。礫層に含まれている礫の種類も様々で、中予地方に分布している地層や岩石の多くをみることができる。また、右の写真のような木の幹や木材片の化石が多く含まれている部分もある。これらの化石は扶桑木ふうそうぼくと呼ばれており、メタセコイヤなど約30種類の植物化石が知られている。



〔地層について〕

この露頭の地層は、郡中層の一部で、第三紀の終わりから第四紀のはじめに堆積したと考えられている。この地層の傾きが急なのは、中央構造線の活動にともなって、堆積したためではないかという考え方もある。

観察地点



国土地理院発行2万5千分1地形図「上灘」を使用した

